

100

2004年12月1日より、港湾の利用効率化を図るため、「那覇港情報システム」を本格稼働しました。

2007年6月に策定された統一モデル様式の申請書式に対応するシステムの改修を行い、さらに利用者の利便性を図っています。

利用者の利便性の向上を図るため、輸出入港湾関連情報処理センター株式会社(NACCS)にて管理・運営を行っているNACCSと連携して、シングルクライアント方式に対応することで、インターネットを利用した港湾施設の許可申請が更に便利になりました。

さらに、船舶入出状況、港湾施設使用状況等の港湾施設利用情報などが取得可能となっています。

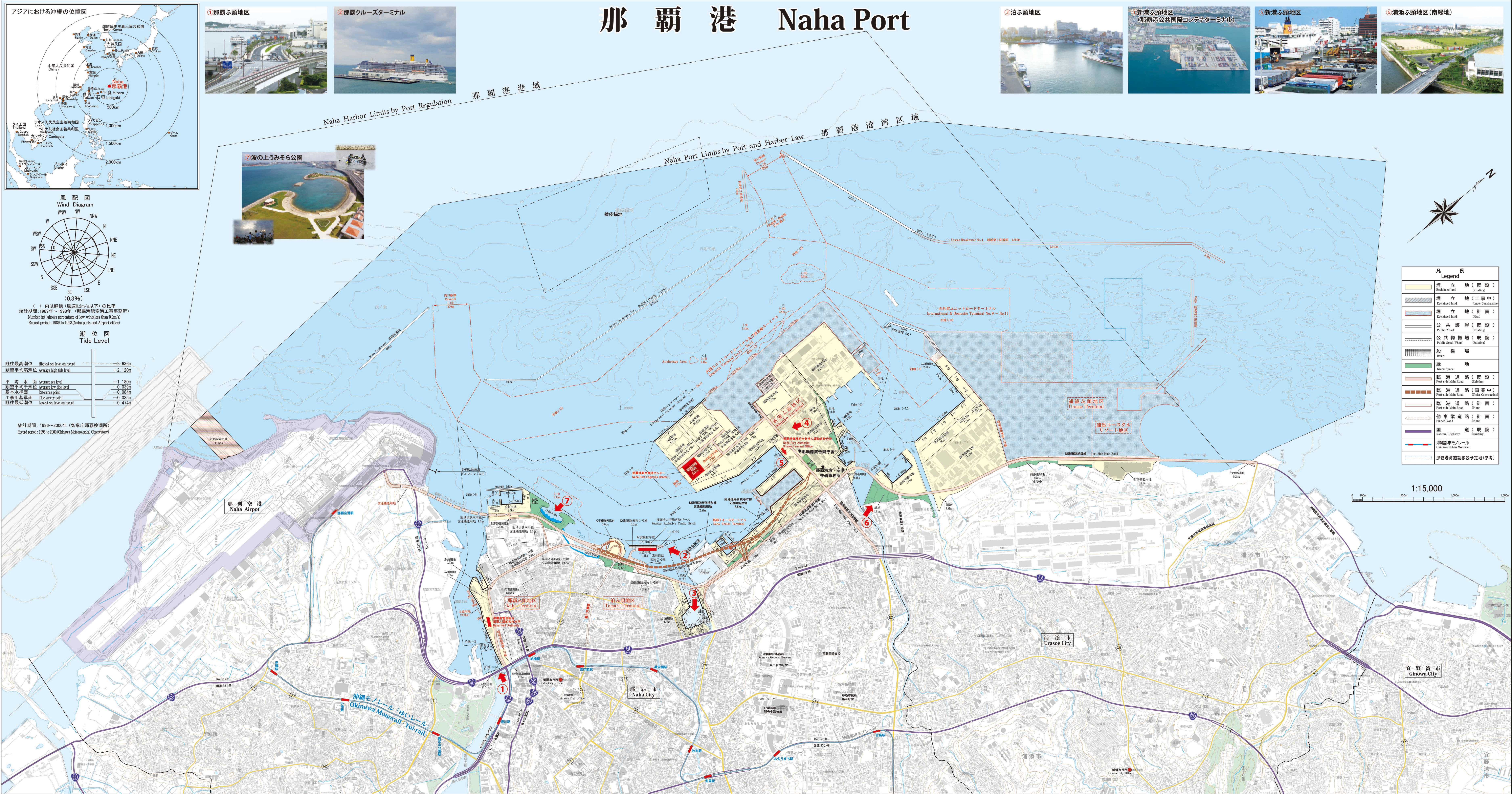


図1-1-1 NACCS利用システム

図1-1-2 NACCS利用システム (N x 1)

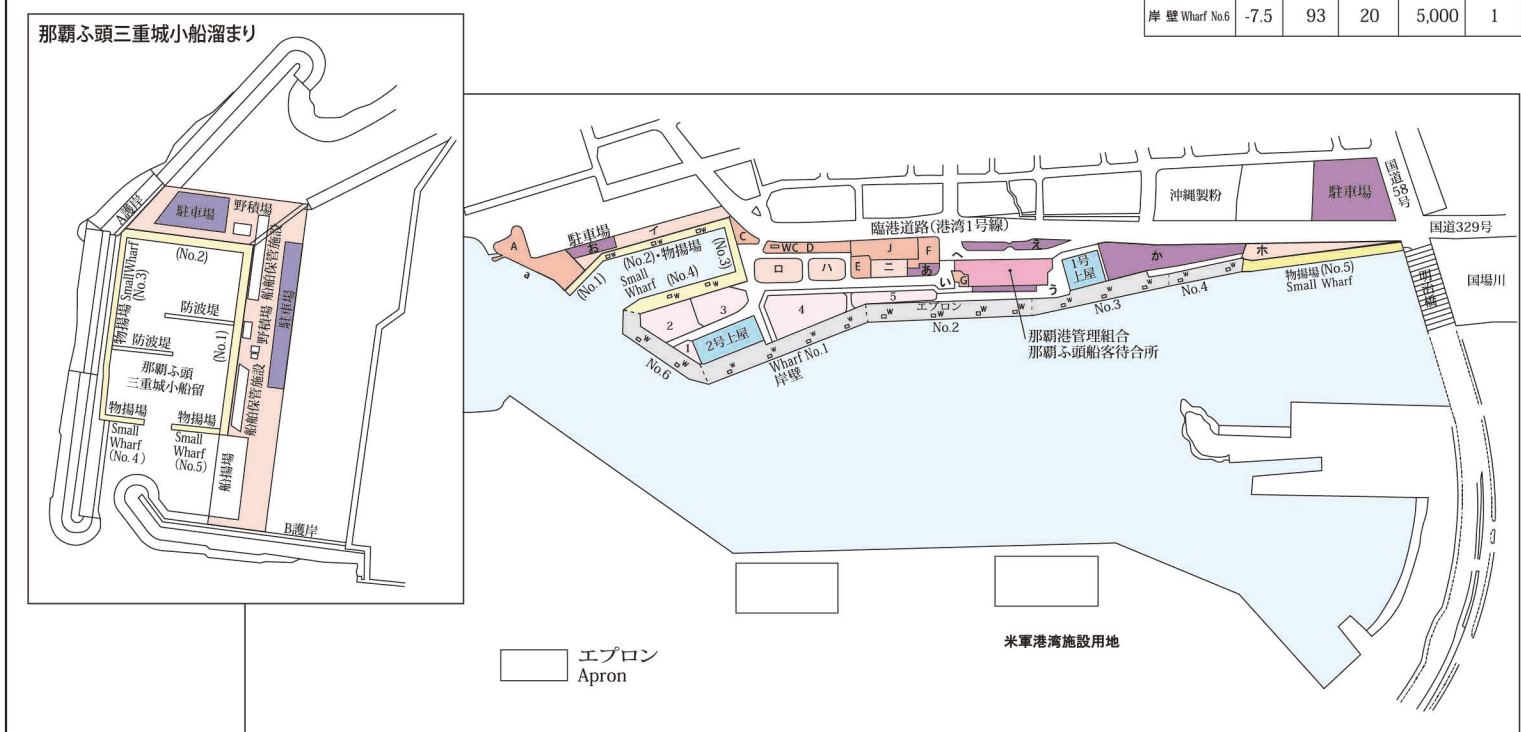
せ先	接岸壁
----	-----

[illegible][illegible][illegible]



那覇ふ頭地区 Naha Terminal

那覇ふ頭地区は鹿児島航路のフェリー、セメント船、穀物船等に利用されており、2019年の取扱貨物量は、989,116トン(出賃: 292,082トン、入賃: 697,034トン)となっている。



泊ふ頭地区 Tomari Terminal

泊ふ頭地区は鹿児島航路のフェリー、セメント船、穀物船等に利用されており、2019年の取扱貨物量は、989,116トン(出賃: 292,082トン、入賃: 697,034トン)となっている。



新港ふ頭地区 Shinko Terminal

新港ふ頭地区は鹿児島航路のフェリー、セメント船、穀物船等に利用されており、2019年の取扱貨物量は、989,116トン(出賃: 292,082トン、入賃: 697,034トン)となっている。



浦添ふ頭地区 Urasoe Terminal

浦添ふ頭地区は鹿児島航路のフェリー、セメント船、穀物船等に利用されており、2019年の取扱貨物量は、989,116トン(出賃: 292,082トン、入賃: 697,034トン)となっている。

